

2023年度春学期修士論文・課題研究テーマ一覧

2023年度春学期において、修士論文を提出し、修了が認定された修了生について、氏名と研究テーマを以下に示します。

氏名：川崎 雄吾

題目：地方自治体におけるSDGs推進体制
と課題

梗概：2015年に国連でSDGsが盛り込まれた「2030アジェンダ」が採択されて、現在で8年が経過した。SDGsは地球上の人間生活全般の諸課題を挙げ、その克服を目的とするものであり、中央、地方の公的機関、とりわけ日々地域住民に接する機会の多い地方自治体の役割は大きいものである。本稿では、先ず国連など国際機関でSDGsが議論され成立した経過、及び日本政府、地方自治体のSDGs推進政策の問題点を見、次にネットワーク論、ガバナンス論の見地より地方自治体の役割を、ネットワークオープン化、メタガバナンスの手法を論じるなかで考察してゆく。

氏名：塚田 直城

題目：セルビアの欧州連合（EU）加盟プロセス—EUの東方拡大と大国の影響からの検証—

梗概：本研究は、欧州の地政学的要衝であるバルカン半島の中心に位置するセルビアのEU加盟プロセスを、一方の加盟交渉の当事者であるEUの東方拡大政策、そして、今まで西バルカンにおける国家形成の過程で様々な影響力を行使してきたロシアや米国、最近の中国といった大国の影響力を踏まえ検証するものである。